

表装

半紙に書いた習字作品の仮巻軸〈掛け軸〉

「表装」とは、書や画などを掛け軸や屏風、襖、額などの表具品に仕上げる仕事です。



対象者
小学校
5～6年生

所要時間
講義 20分
体験 160分

材料リスト

- 仮巻台紙 950mm × 320mm
 - 裏打ち紙 400mm × 350mm
 - 軸棒 380mm
 - 八宗 380mm
 - 一文字紙 380mm
 - 組釘 40mm
 - 両面テープ 800mm
- 参加者
数分

使用工具リスト

- アイロン
 - 霧吹き
 - カッターナイフ
 - メジャー(ものさし)
 - アイロン台
- 2
参加者
数分
2

作業工程の概要



● 半紙に各自の好きな言葉などを墨で書きます。



● 半紙を平らに伸ばします。
● 半紙の裏から霧吹きで水分を与えます。
● アイロンをかけて平らに伸ばしながら乾燥させます。
● 裏打ち紙を乗せ、アイロンをかけ、伸ばしながら貼りつけます。

● 仮巻の上下に八宗(八双)と軸棒を巻きつけます。
● 紐を釘で取りつけます。
● 半紙を貼りつけます。



学校側との事前調整事項等

- 習字は墨を磨って書くようにします。(墨汁や墨液は、にじみが出ます。)
- 習字の作品づくりは、学校の協力をお願いします。
- 作業机、電源、水道の設備を確認します。

安全作業上の注意事項

- アイロンを使うので火傷に注意します。
- カッターを使うので手を切らないように注意します。

指導者からのアドバイスなど

- 道具の正しい使い方をきちんと説明します。(アイロン・カッター)
- 安全作業に細心の注意を払います。(アイロン・カッター)
- 不用意な専門用語は使わないようにしますが、ものの名前などはきちんと説明したほうがよいです。(図解するなど)
- 生徒の作品は、世界に一つのものと思って大切に扱います。
- 自分の作品を自分で表装(仮巻)を仕立て床の間にかけて自慢するなど、ものづくりの楽しさや達成感が味わえるようにします。



講義

日本古来の文化や生活空間に密接に関係して伝承されてきた表装の仕事について。量的には少なくなっても継承すべきもの。

体験した児童・生徒の感想

- かけ軸を初めて作りました。やさしくていねいに教えてくださったので、分かりやすかったし、上手に作れました。かけ軸を作る時に半紙を水でぬらして、アイロンをかけることを初めて知りました。
- 初めは上手に作れるか不安だったけど、先生のお手本をまねして上手に作ることができて良かったです。
- 楽しく学習できて良かったです。もっといろいろな物を作りたいです。

担当教員の感想・要望など

- 子ども達の卒業に伴い「残るもの」をと考えた時、掛け軸を作ることにしました。
- 子ども達が真剣に話を聞き、取り組む様子が見られてとても有意義な時間を過ごすことができました。



協力

- 山形県技能振興コーナー (023-645-3131)
- 土屋 威夫 (ものづくりマイスター：表装) / 伊藤 光治 (ものづくりマイスター：表装)
- 川西町立吉島小学校 ● 山形県表具内装組合連合会